# 広報 かじき

全ご家庭に、もれなく配布

第183号
46.5.1発行
発行 鹿児島県姶良郡加治木町役場
編集 総務課文書係
印刷 吉屋印刷所


## 選挙を終えて

山盛りに　竹のこ飯の
給仕かな　梓月

▽…野にも山にも、まぶしいほど青葉若葉が光って見えて、釣やピクニックの好季節となりました水はぬるみ、そよ吹く風もさわやかに、いよいよ初夏です。

▽…統一地方選挙の総まとめともいうべき町議会議員の選挙は、九一・四一パーセントの好率で終わり、新しい議員二十二人が誕生しました。当選者の内訳は新人五現議員十五、元議員二人となりました。わたしたちが選んだ新議員の、これからの活動に、大いに期待するとともに「明るく住みよい町づくり」にお互い努力したいものです。

ミ開票が始まり、票の山を前に一喜一憂ミ（議事堂）

■メモ　人口……18.574　男……8.681　女……9.893　世帯……5.718　（4月1日現在）

# 六億一千七百万円に

## 町民ひとり三万三千円の予算

### 老人と乳児の医療費の補助など可決

本年度の一般会計予算

3月議会から

三月の定例町議会は、さる三月十二日から二十七日まで会期十六日間で開かれ、昭和四十六年度の予算案や老人と乳幼児の医療費の補助など今年から新しい事業として行なわれるのを含め、二十三の議案と報告一件、陳情八件の審議を行ない、それぞれの案件を承認、可決（陳情一件は閉会中の継続審査）しました。

町民のみなさんに、とくに関係のある四十六年度の一般会計の予算額は、六億一千七百万円に決まりました。この予算額を四月一日現在の人口や世帯数で計算してみますと、つぎのようになるようです。

▽一世帯当たり　十万七千九百円
▽町民一人　〃　三万三千二百円

予算については、曽木町長が議会の開会当日、新年度の施政方針のなかで説明しましたが、その内容については原文のまま掲載して前号（百八十二号）で、みなさんにお配りしたとおりです。

本号では、この三月議会で承認可決された条例関係と、採択された陳情について掲載します。

### □町長や議員などの給与、報酬アップ

町長、助役、収入役、教育長の給与や議員、各種委員会の委員などの報酬および費用弁償の額を引き上げようとするもので、これについては町特別職報酬等審議会からの答申をもとにして提出されていたものです。別表のように改正されました。

**改正された特別職の給与・報酬額（月額）**

| 職名 | 新（円） | 旧（円） |
|---|---|---|
| 町長 | 一五六、三〇〇 | 一三四、一〇〇 |
| 助役 | 一二〇、七〇〇 | 一〇四、一〇〇 |
| 収入役 | 一〇八、六〇〇 | 九四、四〇〇 |
| 教育長 | 一〇八、六〇〇 | 九四、四〇〇 |
| 議長 | 四七、〇〇〇 | 三五、〇〇〇 |
| 副議長 | 三六、〇〇〇 | 二九、〇〇〇 |
| 常任委員長 | 三三、〇〇〇 | 二六、〇〇〇 |
| 議員 | 三〇、〇〇〇 | 二四、〇〇〇 |
| 教育委員長 | 九、〇〇〇 | 八、五〇〇 |
| 委員 | 五、五〇〇 | 五、〇〇〇 |
| 農業委員会長 | 一一、〇〇〇 | 一〇、〇〇〇 |
| 委員 | 六、五〇〇 | 六、〇〇〇 |

**消防団員の報酬額（年額）**

| 区分 | 新（円） | 旧（円） |
|---|---|---|
| 団長 | 二五、〇〇〇 | 二二、〇〇〇 |
| 副団長 | 一八、〇〇〇 | 一四、〇〇〇 |
| 分団長 | 一四、〇〇〇 | 一二、〇〇〇 |
| 副分団長 | 一〇、〇〇〇 | 八、五〇〇 |
| 部長 | 八、〇〇〇 | 七、〇〇〇 |
| 班長 | 七、〇〇〇 | 六、〇〇〇 |
| 団員 | 六、〇〇〇 | 五、〇〇〇 |

### □消防団員の年報酬の額を引き上げる

消防団員は非常の場合、家事をすてて火災などの消火にあたり、わたしたち町民の生命、財産を身をもって守ってくれます。

これらの職務に対して待偶の改善を少しでもはかるため、わずかではありますが、団員の年報酬額を四月一日から引き上げようとするもので、別紙のとおり改正しました。

### □老人と乳幼児の医療費を補助

ことしの町の予算で、国民健康保険加入者で、八十歳以上のお年寄りの医療費のうち、入院された場合以外の自己負担分は、保険でお払いすることとしました。

また、満一歳に達するまでの赤ちゃんの分は、入院も含めて全額保険でもつよう考えられました。

社会保険のかたや八十歳にならないお年寄りのかた、もっと満二歳か三歳児までのお子さんの分も含めたらとの考えもありますが、予算その他で、このたびは実現をみませんでしたが、とりあえず少しでも、お年寄りやお子さんの健康を保つうえで、お役に立てたいと工夫したわけです。

### □保険税の限度額などを一部改正

国民健康保険税の課税額は、これまで年に四万五千円をこえてはならないーと、されていましたが四十六年度分からは、この限度額を二万円引き上げて六万五千円までと、することに改正しました。

また、保険税は①所得割り額や②資産割り額③人員割り額④世帯割り額の四つの合計額となっていますが、このうちの③被保険者均等割り（人員割り）額を、一人千円であったものを千三百五十円にまた④の世帯別平等割り額を一世帯千五百円を千八百円に、それぞれ引き上げることに改めました。

## □町農業振興地域整備促進協議会が発足

町の農業振興地域の整備、計画をはかるため、加治木町農業振興地域整備促進協議会条例を設け、四月一日から発足しました。

この協議会は町議員、農業委員農林団体や農事振興会、青年婦人公民館組織の各代表者、それに学識経験者など二十人の委員で組織されています。

協議会発足の目的は、農業振興地域整備法によるもので、本町の農業地帯における農業の健全な発展をはかり、安定した農産物の供給をはじめとして、生産性の高い農業後継者の育成などとされています。

町経済課を中心にして、これらの計画について作業が進められます。いろんな調査やアンケートなど、これから農家のみなさんのご協力を願うことになります。先程の目的をご理解くださって、この事業がスムースに進みますようご協力ください。

## □水道料四年目にやむなく値上げ

町の水道事業は、昭和三十年四月に給水を開始してから満十六年になります。

現在の水道料金は、昭和四十二年四月に決ったもので、これまで四年間この額でご利用いただきましたが、その後の経済事情の変化や諸施設の拡充など、とくに四十六年度から二か年継続で第二次拡張工事を行なう費用などがふえるため、このほどやむなく料金改正をすることにしたもので、四年ぶりの料金改正となります。

なお、今回の改正で、これまでの用途別料金から、需用者のみなさんが料金の負担を平等にするために従量制料金に改めました。

改正料金は五月検針分から適用されます。料金の改正や早見表など、水道課から色刷りの〃お知らせ〃が各戸にお配りしてありますので、ご覧ください。

## □じんかい処理手数料の納入期限を改める

ちりやごみの処理について、関係地区内では四期にわけて処理手数料を納めていますが、この納期の月を、次のように改正しました

**改正された〃じんかい処理手数料〃の納期限**

| 期別 | 改正納期 | 旧納期 |
|---|---|---|
| 1 | 6月30日 | 5月31日 |
| 2 | 9月30日 | 8月31日 |
| 3 | 12月28日 | 11月30日 |
| 4 | 3月31日 | 2月末日 |

## □町職員の定数百七十五人に

町の職員の定数は、これまで町長、教育委員会、農業委員会など六つの部局を含め百六十五人でしたが、四月から十人ふやして定数を百七十五人とすることに条例を改正しました。

## □庁舎の建設資金条例で積み立て

町役場の庁舎を建設するための建設基金（資金）を、これから積み立てていこうとするもので、その基金の積み立てや管理、保管などについて、新しく条例を設けたものです。

## 〃〃〃〃〃〃〃〃陳情（採択されたもの）

▽…須崎自治会長　杉田シズ外二百二名から「町道の簡易舗装について」

▽…町長寿会代表　猪俣定雄から①「老人の医療費を全額、町負担としていただきたい」②「老人憩の家を建設していただきたい」

▽…加治木町PTA連絡協議会長　酒匂岩次から「昭和四十六年度教育予算について」

▽…城部落代表　城内清・井手向部落代表　井手向実夫から「城井手向部落経由町道の舗装方について陳情」

▽…加治木町農協長、市来徹、姶良養鶏団地管理組合長　野村邦彦から「養鶏資金に対する助成措置について」

▽…中塩入部落代表　稲恒肇から「中塩入町道の舗装について」

（決議）

▽…鹿児島県労働組合総評議会議長　杉元重次から「失業対策事業の存続と改善を求める陳情」

ことしますが、この利子もかたちまで見ていますので、一方でそれに相当する金は商工会へ補助しますので、商工会でもなるべく借りる人に便宜を与えてもらうよう町としてはお願いしています

小さな商工業者のかたのお役に立って、経営や従業員のためになるよう、工夫をこらしてもらうことを望んでいます。

## 貸付資金を用意

### 商店主の経営や従業員のため

加治木が交通の要所になってきますので、商工業もいい面と悪い面が出できそうです。悪い面は、お客さんが全部すどおりしてしまいそうです。また、いろいろ工場などの進出で、小さいお店などには、働き手がなくなりそうです。

そこで、商工会の方からも要請があり、役場でもなんとか手を早めに打ちたいと思って、ことしの町の予算で四百万円を商工会に貸し付けることにしました。その半分は店主の方に、半分は使用人の福利厚生用に充てられますが、銀行にお願いして、この四百万円を抵当に、もっとたくさんのお金を融資してもらうことにし、利子や貸付期間など商工会できめられます。元金の四百万円については一年後に利子をつけて返してもらう

## 新議員が誕生

### 新人五、現役十五、元二人

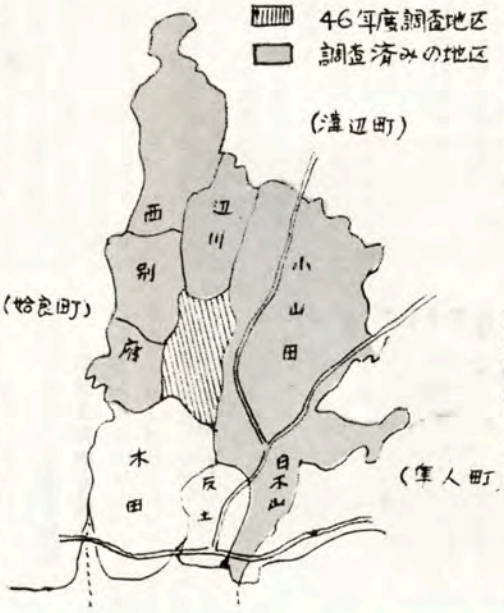
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 当 | 四八三 | 松元　茂 | 46 | 無現 |
| 〃 | 四三二 | 大吉　操 | 50 | 無現 |
| 〃 | 四〇四 | 犬童　秀清 | 55 | 無現 |
| 〃 | 四〇三 | 森木　栄 | 61 | 無現 |
| 〃 | 三九九 | 稲田　進 | 68 | 無元 |
| 〃 | 三九七 | 山崎　昭 | 43 | 無現 |
| 〃 | 三八九 | 田中　高雄 | 47 | 無新 |
| 〃 | 三八六 | 泉　武磨 | 47 | 公現 |
| 〃 | 三六三 | 宮田　実 | 66 | 無新 |
| 〃 | 三四九 | 徳永　一男 | 47 | 無新 |
| 〃 | 三四六 | 前山　新内 | 65 | 無現 |
| 〃 | 三三七 | 坂元　盛豪 | 30 | 無新 |
| 〃 | 三二七 | 末広　一 | 43 | 社現 |
| 〃 | 三一七 | 郡山　敬次 | 67 | 無現 |
| 〃 | 三一三 | 岩田　一郎 | 53 | 無現 |
| 〃 | 三一二 | 川崎　鉄雄 | 47 | 社現 |
| 〃 | 三〇〇 | 中原　久朗 | 59 | 社新 |
| 〃 | 二九七 | 東　藤男 | 55 | 無現 |
| 〃 | 二九五 | 畠田　輝保 | 48 | 無現 |
| 〃 | 二九二 | 神園　国義 | 62 | 無現 |
| 〃 | 二八七 | 市来原静男 | 61 | 無元 |
| 〃 | 二八三 | 土橋　習一 | 66 | 無現 |
| 次 | 二七七 | 猪俣　信男 | 58 | 無新 |

# お知らせ

## □ 戸籍相談・地籍調査・知事選投票率 □

### ことしの地籍調査
### 隈原、提氷流 伊部野地区を

町では、三十九年度から国土調査法に基づいて地籍調査を行なっており、これまでに日木山、小山田、辺川、嶽、菖蒲谷、永原地区の調査を終えました。




ことし（四十六年度）は、隈原提水流、伊部野など西別府地区の残部四・四平方キロメートルを行ないます。

地籍調査は、現在の土地台帳や字絵図を全面的に改正する重大な仕事です。皆さんの土地の所有権を法的に確立しようとするもので関係地区の者さんがたが設置された境界杭（くい）の一本一本が、そのまま地籍図の線として記録され、しかもこれは今後、永久に境界を決定づける極めて重要な調査です。

この調査が順調にすすめられるよう、関係地区内の皆さんがたのご協力を、お願いいしします。

▽ 自分の所有地を確認し、関係者と立ち合いのうえで境界線に直径五センチ以上の境界くいを土の中に深く打ちこみます。

▽ 境界くいを打ち終わったら、標札（役場から配付）を見やすいところに立ててください。

これらが終わってから、調査員が台帳の写しと、字絵図の写しを持って、一筆ごとに境界くいをもとに一筆調査をします。

▽ 境界くいは、永久的な境界標にとりかえていきますが、それまでは「くい」は絶対に引きぬかぬように注意してください。

この調査は、町役場経済課・地籍調査係が行ないます。

### 戸籍相談 シリーズ

**問** ことしは「戸籍制度創設百周年」といわれますが、そのいわれ（根拠）を教えてください。

**答** 明治維新後、大政が奉還されて明治四年七月に廃藩置県が行なわれましたが、県政はもちろん維新政府が、その政策を実現するには、まず日本国民を把握する必要があると考えて、全国統一的に戸口調査を命じたのが、明治五年二月一日から実施された戸籍法です。

これを明治五壬申（じんしん）の年と当時いわれていたのをとって、現在普通に壬申戸籍と呼ばれていますが、本年はその明治五年から数えて百年目に当たりますので「戸籍制度創設百周年」といわれます。

### 六三・一七パーセント
### 県知事選挙の投票率

さる四月十一日、県知事選挙の投票が行なわれました。県議選挙も同時に行なわれるはずでしたが無投票当選が決まり、町選管や明るく正しい選挙推進協では「投票にみんな参加しよう」と、棄権の防止を呼びかけました。

町の平均投票率は六三・一七パーセントとなり、前回（昭四二・四執行）の投票率七一・六九パーセントを八・五二パーセント下回りました。

各投票所の投票率は、つぎのとおりです。

### 各投票の投票結果

| 投票区 | 投票所 | | 有権者数(人) | 投票者数(人) | 平均投票率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | センター | | 4.151 | 2.729 | 65.74 |
| 2 | 性応寺 | | 1.684 | 981 | 58.25 |
| 3 | 錦江小 | | 2.630 | 1.531 | 58.21 |
| 4 | 中福良 | | 689 | 474 | 68.80 |
| 5 | 永原小 | | 715 | 491 | 68.67 |
| 6 | ひなば | | 207 | 148 | 71.50 |
| 7 | 鎮守小 | | 288 | 225 | 78.13 |
| 8 | 西浦 | | 324 | 200 | 61.73 |
| 9 | 川内 | | 335 | 225 | 67.16 |
| 10 | 竜門 | | 701 | 410 | 58.49 |
| 11 | 中野小 | | 314 | 190 | 60.51 |
| 合計 | | 男 | 5.386 | 3.420 | 63.50 |
| | | 女 | 6.652 | 4.184 | 62.90 |
| | | 計 | 12.038 | 7.604 | 63.17 |

# 話題あれこれ

## 新消防車を配備

町消防団に、このほど新消防車が配備されました。この消防車は前後輪駆動型、百十五馬力で、やや小型に設計されていますが、放水やそのほかの性能はこれまでの消防車とまったく変わらない威力を装備しています

値段は小型ながら一台二百二十七万二千円。町費が六十二万二千円、国からの補助六十五万円それに町が国などから借りた金百万円で購入したものです。

## 新魚場づくりに魚のアパート

（加治木町漁協）

加治木町魚協では、魚のアパートとなる並型魚礁（コンクリート製の一メートル立方体）を、黒川岬の沖あいに投棄して、新しい漁場づくりに張り切っています。

これは沿岸漁業構造改善〃並型魚礁〃設置事業として、国からの補助金六十万円、県が四十万円、町から二十万円の計百二十万円で行なったもので、魚協が補助事業として投棄したのはこんどが初めてです。

「二カ月もたつと、いま沈めた二百一個のアパートにタイやイトヨリ、マアジなどが住みつきますョ…」と早くも新しい漁場に期待して組合員は話していました。

## 街路樹を植え替える

天神通り線と駅前大通り線の街路樹アカシヤを、このほど〃くすの木〃ナンキンハゼに植え替えました。

アカシヤは昭和三十二年ごろ植えられ、十四年間あまり町民や道ゆく人たちの緑の木蔭として親しまれてきましたが、アカシヤは風に弱く、毎年の台風のたびに倒れるので適当な街路樹を植えるため、町は補植を見合わせていたものです。

町木の〃くすのき〃は加治木の玄関でもある駅前から国道まで九十五本、ナンキンハゼは端山かどから国道まで七十九本をそれぞれ植え替えました。

この二つの大通りに早く緑がくるように、街路樹をみんなで大切に育てましょう。

## 農協舎屋が落成

加治木町農協では、旧たばこ収納所あとに昨年の七月から新舎屋の建設をすすめていましたが、このほど立派にできあがりさる四月十日落成式が行なわれました。

新舎屋は、鉄筋コンクリート造り二階建、冷暖房完備のすばらしいつくりで、一階はだいたんなデザインの玄関をはじめ、事務室や組合長室、男女更衣室宿直室、書庫、金庫など、二階は大会議室、和室、役員会室ほかとなっています。建設費総額四千二百七十万円

# 加治木教育の心髄になりたい

## 21人の先生が着任

―― 新任教職員就任式 ――

ひとりずつ紹介をうける新任の先生がた

三月末の定期異動で、町内の小、中学校に着任した二十一人の先生がたの〝新任教職員就任式〟が四月十四日、福祉センターで行なわれました。

自己紹介や町民憲章の朗読のあと町長、教育長、町議長、給良教育事務所長が、歓迎のことばをのべました。

これにこたえて新任の加治木中羽生校長は「これまでわたしたちは加治木の教育を目標に研究、努力してきた。その加治木に、このたびの異動でお世話になることになった。いざ赴任すると不安ではあるが、一日も早く、加治木教育の心髄として努力したいと、意気ごんでいる…」と、あいさつしました。

町民歌斉唱のあと、全員に加治木名物の竜門司焼き〝黒ヂョカ〟が贈られ「加治木の黒ジョカを良き友に、早く地ゴロになって、加治木の文教の士となっていただきたい…」とユーモアなことばで、式を終えました。

## 町の交通災害共済に加入しましょう

住民課の窓口で受付中

### □異動□

#### 学校・役場

#### 学校

――退職――

宮原健志（柁城小）▽岡山秀樹（錦江小）▽小園正雄（永原中）▽豊平正弘（加治木中）▽有光洋輔（同）▽中原久則（永原中）▽荻野ミチ子（竜門小）▽長野洋子（永原小）▽田中勝子（永原中）

――転出――

細山田小　新福国隆（柁城小）▽本名小　有馬純豊（同）▽附属小　友生雅章（同）▽松原小　堀之内芳子（同）▽垂水市教委　北井上義弘（同）▽田上小　加賀トモ子（錦江小）▽曽木小　大坪寛（竜門小）△堀江武志（永原小）▽万膳小　福迫光穂（鍋守小）▽永吉小　本田六夫（同）▽永原小　杉田勇（同）▽柁城小　羽毛克規（同）▽本名小　松尾昭子（同）▽田上小　行船忠好（加治木中）百引小　滝川完（同）▽宮之浦中　宮崎唯男（同）▽天保山中　松田正和（同）▽鹿水産高　峯苦忠博（同）▽溝辺中　宮里登喜雄（永原中）▽帖佐中　松田泉（同）▽牧園中　長野修（同）▽甲南高校長　村野守次（加高）

――転入――

柁城小＝校長　室屋義冨（揖宿教育事務所）▽安田隆文（溶城小）▽吉留興一（佳例川小）▽岩下太郎（中平小）▽猪俣浩平（国分小）

錦江小＝校長　橋口敏美（宇宿小）▽米沢勝英（吉松小）

竜門小＝教頭　才原政美（大山小）▽城光寺達夫（竹子小）

永原小＝川上博義（小野小）

加治木中＝校長　羽生満蔵（宮之城中）山崎功（牧之原中）▽海江田叶（同）▽大平浩造（横川中）▽肥後俊一（溝辺中）▽池田尚応（獅子島中）▽横山哲郎（二松中）

永原中＝校長　栄義雄（小野小）教頭　相良士（霧島中）▽白坂数男（鶴田中）▽古川節子（北山中）▽加高校長　川畑美輝男（種子島高）

#### 町役場

町職員の異動配置が、四月一日付で次のように発令されました。

▽福祉課長　堂森重義（福祉課長補佐）▽教委庶務課長　向江重光（同課長補佐）▽水道課長　穂満芳徳（同課長補佐）▽図書館長　野元茂（農委事務局長）▽農委事務局長　隈原明（図書館長）▽福祉課長補佐　鷺山守道（課税第一係長）▽水道課長補佐　立山良忠（財政係長）▽財政係長　堅山大支（財政係）▽徴収係長　市来政秋（用地係長）▽用地係長　松尾義則（徴収係長）▽課税第一係長溝口利男（課税第一係）▽畜産係長　松元貢（畜産係）▽監査委員書記　入部兼宣（水道課）▽総務課　杉田淳平（税務課）▽同長谷場啓子（福祉課）▽住民課　瀬戸口まゆみ（税務課）▽同久保薗美知子（福祉課）▽建設課　大園親正（住民課）▽同　永井京子（水道課）▽同　猪目忠義（総務課）▽経済課　白尾親昭（同）▽水道課　石神あけみ（住民課）▽教委　福森茂（建設課）

### 電話で正しい時刻がわかります

電話局の「117」番にダイヤルすれば、ただちに「何時何分何秒」まで知らせてくれます

なお天気予報を知りたいときは「177番」なので間違いのないように。

# 姶良四カ町の常設消防署の設置（加治木町に）本決り

## 蒲生・溝辺町に分遣隊

姶良郡西部四ヵ町（加治木・姶良・蒲生・溝辺）では、現在の消防団のほかに常備の消防署員をおいて、昼夜を通して火災、災害や救急業務に万全を期することになり、いろいろ準備をすすめていました。

四月一日付で知事の認可がおりましたので、四月二日と九日に、四ヵ町の町長、議長などが集って協議をして、組合の組織や構想などをきめました。

それによると、管理者には加治木町長、組合議会議長には蒲生議会議長が当たることになり、本署を加治木町に、分遣所を蒲生町と溝辺町に設置します。本年度中に四十名近い消防士を県消防学校に入校させ、研修をさせることにして、予算一億円あまりをかけて建物、ポンプ車、救急車、無電機なども用意することをきめました。

実際に活動にはいるのは、四十七年度からですが、これが整備されますと、火災・風水害の発生や交通事故などの際、現在の消防団の活動と相まって、住民の生命、財産を守るうえで大いに役立つものと思われます。

# 竜門農免道路が決定

## 小山田と西別府を結ぶ

小山田の御狩山から、西別府の提水流に至る道路の建設予算が、国で認められましたので、つぎの県議会で正式にこれが決まり、夏すぎには着工されるでしょう。

この道路ができあがりますと両地区の往来に大へん便利になり上場地帯の開発に役立つものと思われます。

# スクールバスで通学

## 辺川・嶽・ひなば地区の児童

校門前でバスをおりる児童たち

四月六日から、加治木町で初めてのスクールバスによる通学が始まりました。

このスクールバスで通学する児童たちは、三月末で閉校となった旧鎮守小の児童たち三十七人と、これまで国鉄バスなどで通学していた永原校区の一部（嶽、ひなば地区）の児童たち三十二人の計六十九人で、こどもたちは十五の停留所から登下校しています。

スクールバスは、オレンジの地色に赤線の入った鮮やかな車体で定員は七十人乗りで、値段は二百七十七万円。町が新年度予算で購入したものです。

バスは午前中、登校のため一回午後は低学年と高学年に分けて下校するので、二回運行しています

なお新一年生の入学式と両校の統合式は六日にいっしょに行なわれ、旧鎮守小代表と永原小代表の児童が「早くお友だちになり、仲よく運動や勉強をしましょう…」と、あいさつの交換があり、統合の式を終えました。永原小は、この統合で児童数百六十六人となります。

**河川をきれいに**

**15日から河川愛護月間**

## 県の消防学校の教材に

## ニッサン消防車が引退

昭和二十八年十二月、百八十五万円で購入、中央分団に配置された通称〝ニッサン〟九十五馬力消防車は十八年間、数多くの火災や災害に出動し活躍しましたが、このほどついに第一線から引退しました。

引退後は県の消防学校で、県内の団員や消防士などの実習教材として使用され余生？を過ごすことになり、四月初めに鹿児島市へ向けて発車しました。

〝ご苦労さんでした〟

# 行楽期の交通事故を防ごう

いよいよ行楽期。この期になると断然ふえるのが交通事故です。行楽地へドライブするようなときは、ふだん慎重な運転をする人でも、とかく無理をしがちであり、スピード違反、追越違反、わき見運転、酒酔い運転、徐行違反、一時不停止などで、とり返しのつかない事故を起こすことになります。

そこで行楽期の交通事故を防ぐために、つぎの点を呼びかけます。

### 発車前に車の点検整備を完全に

エンジンやブレーキの調子はよいか、ハンドルにガタはないか、空気圧は適当か、などについて点検整備を十分にしておくこと。

また運転する車の出力、性能、クセなど十分、のみ込んでおくことも忘れないことです。

### ドライブの計画に無理がないように

行楽期は、どこも車が混雑するので、予定どおりに目的地に着くことは期待できません。途中の休けい時間なども十分、計算に入れるなど、余裕をもって出発するようにつとめることです。

### 心身を最高の状態に保とう

前日の疲れや寝不足などが残っているときは、途中で居眠り運転を招くなどして、人身事故を起こすもとになります。こうした状態のもとでは、決してハンドルを握らないようにすることです。

### 無理な運転は絶対にしない

酒などを飲んだときは絶対に運転しないことはもちろん、いったんハンドルを握ったら、同乗者の生命を預っていることを常に頭に置いて、スピード違反や無理な追越し、わき見運転など、大きな人身事故の原因となるような違反は絶対にしないこと。

また、十分な車間距離を保つよう心がけるとともに、踏切りでは必ずいったん停止して、左右の安全を確認することを忘れてはなりません。

### 二輪車の運転には必ずヘルメットを

二輪車を運転するときは、通行区分帯に従ってスピードを出し過ぎないよう、とくに注意するとともに、必ずヘルメットを着用して頭部をしっかりと保護することを忘れてはなりません。

家族そろって事故のない、楽しい行楽期をすごしましょう。

## 〃〃〃〃〃〃 香典返しを寄付

### 町社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

金額　ご遺族　故人

五千円　西ノ原　谷口親男(母下枝アイ)

三千円　上　嶽　樗木スミエ（夫正夫）

五千円　垂ノ口　平田　一（母トキ）

五千円　西　町　原口志津（夫武夫）

五千円　岩原東　浜田兼春（父直一）

一万円　茶碗屋　坂部シゲ（長男久雄）

一万円　天　神　四元義雄（母ケイ）

五千円　岩原西　淵脇清則（長男清澄）

五千円　菖蒲谷　畠中イセキク(夫済助)

五千円　西反土　水流十三夫(母シヅエ)

### 育英奨学資金へ

五千円　茶碗屋　坂部シゲ（長男久雄）

○四月二十日までの、ご寄付を掲載しました。

## 随想 ⑱ 雨のち晴れ

曽木隆輝

四月の第三日曜日朝は小雨が降って、うす寒かった。私は小山田の迫部落の運動会に招かれた。

数年前、溝辺町から加治木町へ編入された、山あいの清流沿いの静かで豊かな部落だ。田んぼにはタバコがきれいにのびている。

川のほとりに造られた広場には百七、八十人の村びとが、雨にぬれながら、入りかわり立ちかわり忙しく走ったり、ボールを投げたりする。家族ぐるみ部落ぐるみでそこには年齢の差も、男女の別も忘れたかのような団らんがある断層とか、対立とかよく聞くことばだが、それはこの集団の中には見出せぬ。やがて空港ができ騒音や汚水が、このうるわしい小天地をそこねないでほしい…と思うことだった。

正午前から雨はやんで陽がさしてきた。私は柁城校講堂での農協総会へまわった。千人近い組合員が集って決算や予算の審議がなされたが、農業のきびしい折から組合の内容が充実していることをうれしく思った。

前日、私はある農家をたずねたとき、ご主人が飯を食って行けとすすめられた。辞退すると米の消費を少しでもふやすべき際だからぜひとのこと。へんな要請だが笑いごとでないことを、千人の農家の顔を見ながら思い出した。

政府の米の買入れ制限や米価据置き説もでて、今後の農家にどうして収入増を講じてもらうか、かつて供出を強要した人たちに、いま米作りを減してくださいと、言わねばならぬ苦しさがせつない。

総会はなごやかな余興まであって無事終わったので、お昼すぎ校門を出た。街には町議戦第一日とあって、候補者の真剣な叫び声がにわか雨のようにすさまじい。先日の知事選挙で町議候補予定者の名を書いた票もあったとか身近な名が頭にこびりついていたのだろう。各候補は風雨の中に巻き込まれておられるが、きっともう早くすんで、きょうの天気のように晴れてほしいと、思っておられよう。健闘を祈ってやまない。